

施策番号	1002		
施策名	環境や社会に貢献できる農林業の育成		
概要	資源循環型産業として環境や社会に貢献するとともに、観光資源につながる農林業・農山村の魅力創出を図るなど、農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりを進める。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	間伐面積(スギやヒノキの人工林における間伐面積)(ha/年)	a	a	776	685	907	75.5%	b	1.00
2	「京の旬野菜」供給量(t)	a	a	10,632	10,806	10,756	100.5%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	c	c	31	138	302	75	27	573	c
				5.4%	24.1%	52.7%	13.1%	4.7%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					平成 30 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 環境に負荷をかけない栽培を増やすための取組や森林の整備等は、市民生活において実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えられる						平成 29 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・農林業による環境への負荷を抑制する効果が、市民生活において実感しにくい面があるため、c評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	農業・農村多面的機能強化事業（中山間地域等直接支払制度分）	55,124	56,108	良い	産業観光局
2	園芸振興	31,862	27,512	かなり良い	産業観光局
3	伏水・蔵まち構想の推進	1,916	0	良い	産業観光局
4	家畜衛生防疫	2,157	1,934	良い	産業観光局
5	京の川の恵みを活かす事業	2,239	0	普通	産業観光局
6	農業基盤整備事業	118,993	90,848	良い	産業観光局
7	農業用水路に治水機能を付加した雨に強いまちづくり推進事業	54,956	30,991	－	産業観光局
8	下三栖樋門撤去助成事業	8,129	0	－	産業観光局
9	森の力活性・利用対策	75,568	77,888	良い	産業観光局
10	災害に強い森づくりの推進～京都市内産木材搬出支援～	17,493	13,180	良い	産業観光局
11	森林病虫害被害防止対策事業	10,570	15,104	普通	産業観光局
12	四季・彩りの森復活プロジェクト	18,162	13,563	－	産業観光局
13	京都らしい森づくりの推進～京都三山の森再生～	13,815	15,519	良い	産業観光局
14	京都らしい森づくりの推進～古都の美林を守る森林支援事業～	13,123	8,851	普通	産業観光局
15	木質ペレット需要拡大事業	6,105	11,675	普通	産業観光局
16	市内産木材総合需要拡大事業	29,208	28,373	かなり良い	産業観光局
17	山村都市交流の森運営管理	32,517	30,624	普通	産業観光局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・水源涵養機能、二酸化炭素吸収源、環境負荷抑制効果など、農林業が持つ多面的機能を市民に伝えるとともに、農業用水路に治水機能を付加し、雨に強いまちづくりを推進する。
- ・地域特産物の育成を通じて、農山村の活性化や新たな収入源の確保につなげていく。
- ・食や景観といった、本市の魅力を支える産業としての農林業の重要性について、広く発信していく。
- ・近年の大型台風による集中豪雨やゲリラ豪雨等の増加に対して、適正な森林整備が、山林の災害を防ぐ効果があることを広く周知していく。

施策名	1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成					
指標名	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）						
担当課	林業振興課	連絡先	2 2 2－3 3 4 6				
1 指標の説明							
本市のスギやヒノキの人工林における間伐面積							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境保全等の公益的機能の確保状況を示す指標			出典：京都府林業統計				
4 数値							
	前回数値 平成28年度	最新数値 平成29年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度	
数値	776	685	91ha減	907	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（535ha）と京都市農林行政基本方針の目標数値（令和元年度1,000ha）から各年度の目標数値を等差的に算出	75.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成29年度値が最新となる。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		1,000	令和元年度	68.5%			京都市農林行政基本方針
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		平成29	平成30	令和元
					a	a	b

指標名	「京の旬野菜」供給量（t）						
担当課	農林企画課	連絡先	2 2 2－3 3 5 1				
1 指標の説明							
京の旬野菜認定生産者による、フードマイレージの低い農産物の生産量（フードマイレージ：食料の重量と輸送距離を掛けて得られる指標）							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境負荷の抑制状況を表す指標			事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 平成28年度	最新数値 平成29年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度	
数値	10,632	10,806	174t増	10,756	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（9,657t）と京都市農林行政基本方針の目標数値（令和元年度11,000t）から各年度の目標数値を等差的に算出	100.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成29年度値が最新となる。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		11,000	令和元年度	98.2%			京都市農林行政基本方針
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、農業者の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		平成29	平成30	令和元
					a	a	a